

品川区協カイベント「しながわサンゴ礁ラボ」を開催しました！**～次世代を担う小学生に、海洋保全の重要性を～**しあわせ
多彩区
Shinagawa City

株式会社フォーカスシステムズ（東京都品川区、代表取締役社長：森啓一、以下「当社」）は、品川区協力の下、品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」（東京都品川区、館長：中藏康之）、株式会社イノカ（東京都文京区、代表取締役 CEO：高倉葉太、以下「イノカ」）と共同で、2月8日（日）に当社の本社エントランスにて、小学生を対象とした「しながわサンゴ礁ラボ～サンゴが住む海の環境を学ぼう～」を開催しました。

本イベントは、子どもたちに生きたサンゴとの触れ合いや、オフィス内のサンゴ礁生態系を観察しながらの学習を通じて、海洋保全の重要性を伝えるとともに、環境問題への理解促進を図ることを目的に実施したものです。



しながわサンゴ礁ラボの様子

品川区

都市環境部環境課長 中西 俊介氏 コメント

このたび、株式会社フォーカスシステムズ様、株式会社イノカ様との連携により「しながわサンゴ礁ラボ」を開催できたことを大変うれしく思います。品川区では、なかなか海を身近に体感することができない中、フォーカスシステムズ様のオフィスという、区内で育てられているサンゴ礁を教材に、子どもたちが海の環境や生きもののつながりを体験的に学べる点に大きな意義を感じています。環境問題は難しい知識として学ぶだけでなく、実際に見て、触れて、驚く体験を通じてこそ、心に残るものになります。今回の学びが、子どもたち一人ひとりにとって自然や地域、そして地球環境について考えるきっかけとなることを期待しています。本イベントを契機に、企業と行政、地域が連携した環境教育の取り組みがさらに広がり、将来を担う世代の行動に繋がっていくことを願っています。

しあわせ
多彩区
Shinagawa City

■当日の様子

当日は小学生及びその保護者総勢 44 名が参加しました。クイズを交えた参加型のインタラクティブ学習では、サンゴの神秘的な生態とともに、地球温暖化による海水温上昇等の環境問題についても学び、子供たちからも積極的な発言が飛び交いました。続く水槽展示観察では、水槽に顔を近づけて夢中で観察している様子も見られました。実際に目で見て、触れる体験を通じ、サンゴの未来を守るために自分たちができることを真剣に模索する時間となりました。



生きたサンゴを観察している様子

■当社の取組み

当社は 2023 年 4 月より株式会社イノカと連携し、本社エントランスに設置した「サンゴ礁の生態系を再現した水槽」で、サンゴ礁の保全と再生に挑戦する「サンゴとつなぐ未来のわ!」プロジェクトを推進しています。

このプロジェクトの根幹を支えるのが、両社で開発している IoT 水槽管理システム「MONIQUA*」です。本システムにより、水温をはじめとした多岐にわたるパラメータをリアルタイムで管理し、繊細なサンゴの生育環境を精密にコントロールしています。

2025 年 6 月には、この技術を用いて日本初となる「オフィス環境でのサンゴ複数コロニー同時産卵」に成功しました（イノカ調べ）。

今回のイベントでも、その高い再現性を活かし、安定した生態系を子どもたちに披露することができました。本イベントのような技術と教育を融合させた「環境エデュテインメント」の提供を今後も継続し、SDGs（目標 14：海の豊かさを守ろう）への貢献と、地域社会における次世代教育への貢献を推進してまいります。

当社は今後も、この環境管理技術を養殖場や他の水生生物の保護等、更なる領域へ展開することを目指しています。

(*) 人間と自然環境をつなぐ環境移送技術を支える基幹システム。リアルタイムでの水温の確認やコントロール、水生生物の飼育に必要な水質や水温等のパラメータの管理が可能。



【株式会社フォーカスシステムズについて】

株式会社フォーカスシステムズは、1977 年に設立され、公共・通信ほか、社会性の高い分野におけるシステム開発・運用に携わるだけでなく、IoT、クラウドや AI 等、時代の流れを見据えたビジネス展開も積極的に推進しています。コーポレートスローガンは“テクノロジーに、ハートを込めて。”人と人をつなぐ技術でつなぐ私たちフォーカスシステムズの仕事に、社員ひとりひとりが、情熱と誠意を持って臨む姿勢を込めました。

HP : <https://www.focus-s.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社フォーカスシステムズ
コーポレートマネジメント本部
IR・広報部

E-MAIL : koho@focus-s.com

TEL : 03-5421-7790